

令和四年 高学部(音楽)年間指導計画

教科・領域名		音楽	学年	1年	
作成責任者			教育課程・類型	Ⅱ課程A類型①②	
教科観の点目別標	知識及び技能	曲想と音楽の構造や音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけるようにする。(高1段階)			
	思考力 判断力 表現力等	音楽表現を創意工夫することや、音や音楽の良さや美しさを感じながら、聴いたり表現したりすることができる。(高1段階)			
	学びに向かう力 人間性等	主体的・共同的に音楽活動に取り組み、その楽しさを体験することを通して、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。(高1段階)			
学期	月	時数	単元名(題材名)	単元の目標	学習内容
一学期	4月 ～ 7月	24	【表現】 ・歌唱(姿勢・呼吸に気を付けて歌おう)(言葉を大切に歌おう) ・身体表現(体を使った表現法を学ぼう) 【鑑賞】 (身近にある曲の良さを友達と共有しよう)	(知及技) 呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない響きのある歌い方で歌う技能を身につけることができる。(高1段階:歌唱(ウ)㊦) (思判表力) 身体表現についての知識技能を得たり生かしたりしながら、身体表現を創意工夫することができる。(高1段階:身体表現(ア)) (学・人) 身近な音楽に触れ、感じたことを積極的に表現・共有することができる。(高1段階)	・歌唱:「校歌」「花」「花は咲く」「月桃」「翼をください」「季節の歌」等。(知及技に関する内容) ・身体表現:「ボディパーカッション(ビートカノン)」「手話で歌おう」等。(思判表力に関する内容) ・鑑賞(ビバルディ「春」「映画音楽(れ・ミゼラブル)」「平和に関連した曲」等。(学・人に関する内容)
二学期	9月 ～ 12月	28	【表現】 ・器楽(ハ長調の楽譜を見て楽器を弾いてみよう) ・創作(いくつかのリズムパターンを知り、自分のリズムを作ってみよう) ・身体表現(強弱記号や曲想を意識して指揮に挑戦しよう)	(知及技) 範奏を聴いたりハ長調の楽譜を見たりして演奏する技能を身につける事ができる。(高1段階:器楽イ(ウ)㊦) (思判表力) 創作表現についての知識技能を得たり活かしたりしながら、創作表現を創意工夫する事ができる。(高1段階:エ(ア)) (学・人) 曲想とリズム・速さ等の音楽的要素が、体の動きでも表現できる楽しさを感じ、主体的に取り組む事ができる。(高1段階)	・器楽:「喜びの歌(鍵盤楽器)」「かんから三線うむるむん(三線)」等。(知及技に関する内容) ・創作:「リズムを作ろう」「作ったリズムを曲に合わせてよう(前前前世)」等。(思判表力に関する内容) ・身体表現:「指揮に挑戦(4拍子・3拍子)」「ボディパーカッション(ダイナマイト)」等(学・人に関する内容)
三学期	1月 ～ 3月	18	【鑑賞】 ・各地の音楽を聴いて違いを感じよう 【表現】 ・歌唱(歌詞の意味や曲想を感じながら歌おう) ・身体表現(歌詞や曲想を意識して表現しよう)	(知及技) 曲想及びその変化と音楽の構造との関わりについて理解することができる。(高1段階:鑑賞(イ)) (思判表力) 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫することができる。(高1段階:歌唱ア(ア)) (学・人) 曲想とリズム・速さ等の音楽的要素が、体の動きでも表現できる楽しさを感じ、主体的に取り組む事ができる。(高1段階)	鑑賞:「日本各地の伝統音楽」「諸外国の伝統音楽」「西洋の音楽」等。(知及技に関する内容) 歌唱:「校歌」「卒業式の歌」「ホールニューワールド(原語で歌おう)」等。(思判表力に関する内容) 身体表現:「手話で歌おう(卒業式に関連して)」「指揮に挑戦」(学・人に関する内容)
年間授業時数		(70) 時間			

令和四年 高学部(音楽)年間指導計画

教科・領域名		音楽	学年	1年	
作成責任者			教育課程・類型	Ⅱ課程A類型③④	
教科観の 点別標	知識及び技能	曲想と音楽の構造や音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけるようにする。(高1段階)			
	思考力 判断力 表現力等	音楽表現を創意工夫することや、音や音楽の良さや美しさを感じながら、聴いたり表現したりすることができる。(高1段階)			
	学びに 向かう力 人間性等	主体的・共同的に音楽活動に取り組み、その楽しさを体験することを通して、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。(高1段階)			
学期	月	時数	単元名(題材名)	単元の目標	学習内容
一学期	4月 ～ 7月	24	【表現】 ・歌唱(姿勢・呼吸に気を付けて歌おう)(言葉を大切に歌おう) ・創作(いくつかのリズムパターンを知り、自分のリズムを作ってみよう)	(知及技) 呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない響きのある歌い方で歌う技能を身につけることができる。(高1段階:歌唱(ウ)④)	・歌唱:「校歌」「花」「浜辺の歌」「月桃」「夢の世界を」「季節の歌」等。(知及技に関する内容)
			【鑑賞】 ・身近にある曲の良さを友達と共有しよう	(思判表力) 創作表現についての知識技能を得たり活かしたりしながら、創作表現を創意工夫する事ができる。(高1段階:エ(ア)) (学・人) 身近な音楽に触れ、感じたことを積極的に表現・共有することができる。(高1段階)	・身体表現:「リズムを打ってみよう」「指揮に挑戦(4拍子・3拍子)」「ボディパーカッション」等(学・人に関する内容) ・鑑賞(ヴァルディ「春」「映画音楽」「ミュージカル」「平和に関連した曲」等。(学・人に関する内容)
二学期	9月 ～ 12月	28	【表現】 ・器楽(ハ長調の楽譜を見て楽器を弾いてみよう) ・身体表現(体を使った表現法を学ぼう) ・身体表現(強弱記号や曲想を意識して指揮に挑戦しよう)	(知及技) 範奏を聴いたりハ長調の楽譜を見たりして演奏する技能を身につける事ができる。(高1段階:器楽イ(ウ)⑦)	・器楽:「喜びの歌(鍵盤楽器)」「かんから三線うむするむん(三線)」等。(知及技に関する内容)
			【鑑賞】 ・ジャンルの違う音楽を聴いてみよう	(思判表力) 身体表現についての知識技能を得たり生かしたりしながら、身体表現を創意工夫することができる。(高1段階:身体表現(ア)) (学・人) 曲想とリズム・速さ等の音楽的要素が、体の動きでも表現できる楽しさを感じ、主体的に取り組む事ができる。(高1段階)	・身体表現:「ボディパーカッション(ビートカノン)」「手話で歌おう」等。(思判表力に関する内容)
三学期	1月 ～ 3月	18	【表現】 ・歌唱(歌詞の意味や曲想を感じながら歌おう)	(知及技) 曲想及びその変化と音楽の構造との関わりについて理解することができる。(高1段階:鑑賞(イ))	鑑賞:「日本各地の伝統音楽」「諸外国の伝統音楽」「西洋の音楽」等。(知及技に関する内容)
			【鑑賞】 ・身体表現(歌詞や曲想を意識して表現しよう)	(思判表力) 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫することができる。(高1段階:歌唱(ア)) (学・人) 曲想とリズム・速さ等の音楽的要素が、体の動きでも表現できる楽しさを感じ、主体的に取り組む事ができる。(高1段階)	歌唱:「校歌」「卒業式の歌」等。(思判表力に関する内容) 身体表現:「手話で歌おう(卒業式に関連して)」「指揮に挑戦」(学・人に関する内容)
年間授業時数		(70)時間			

令和四年 高学部(音楽)年間指導計画

教科・領域名		音楽	学年	1年	
作成責任者			教育課程・類型	Ⅱ 課程B類型	
教科観の点別目標	知識及び技能	曲想と音楽の構造や音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけるようにする。(高1段階)			
	思考力 判断力 表現力等	音楽表現を創意工夫することや、音や音楽の良さや美しさを感じながら、聴いたり表現したりすることができる。(高1段階)			
	学びに向かう力 人間性等	主体的・共同的に音楽活動に取り組み、その楽しさを体験することを通して、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。(高1段階)			
学期	月	時数	単元名(題材名)	単元の目標	学習内容
一学期	4月 7月	24	【表現】 ・歌唱(姿勢に気を付けて歌おう)(自分の歌声の大きさや発音に気を付けて歌おう) ・身体表現(簡単なリズムの特徴に合わせて体を動かそう)	(知及技) 呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない響きのある歌い方で歌う技能を身につけることができる。(高1段階:歌唱(ウ)㉔) (思判表力) 身体表現についての知識技能を得たり生かしたりしながら、身体表現を創意工夫することができる。(高1段階:身体表現(ア)) (学・人) 身近な音楽に触れ、感じたことを積極的に表現・共有することができる。(高1段階)	・歌唱:「校歌」「花」「月桃」「翼をください」「季節の歌」等。(知及技に関する内容) ・身体表現:「ボディーパーカッション(夜にかける)」「手話で歌おう」等。(思判表力に関する内容) ・鑑賞(「花は咲く」、ビバルディ「春」「平和に関連した曲」等。(学・人に関する内容)
			【鑑賞】 (好きな音や楽器の音色を探そう)		
二学期	9月 12月	28	【表現】 ・器楽(リズムを真似て打楽器を演奏しよう) ・創作(いくつかのリズムパターンを聴いて、リズムの面白さを感じよう) ・身体表現(2拍子の指揮に挑戦しよう)(先生や友達と一緒に体を使って表現しよう)	(知及技) 範奏を聴いたりハ長調の楽譜を見たりして演奏する技能を身につける事ができる。(高1段階:器楽イ(ウ)㉚) (思判表力) 創作表現についての知識技能を得たり活かしたりしながら、創作表現を創意工夫する事ができる。(高1段階:ウ(ア)) (学・人) 曲想とリズム・速さ等の音楽的要素が、体の動きでも表現できる楽しさを感じ、主体的に取り組む事ができる。(高1段階)	・器楽:「喜びの歌(4拍子)、おぼろ月夜(3拍子)」「かんから三線うむるむん(三線)」等。(知及技に関する内容) ・創作:「リズムを作ろう」「作ったリズムを曲に合わせよう(星に願いを・リクエスト曲)」等。(思判表力に関する内容) ・身体表現:「指揮に挑戦(2拍子)」「ボディーパーカッション(ダイナマイト)」等(学・人に関する内容)
			【鑑賞】 ・曲想や楽器の音色などの特徴に気付こう		
三学期	1月 3月	18	【表現】 ・歌唱(気持ちをこめて、自分なりに歌おう) ・身体表現(言葉のイメージに合わせて手や体を動かそう)	(知及技) 曲想及びその変化と音楽の構造との関わりについて理解することができる。(高1段階:鑑賞(イ)) (思判表力) 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫することができる。(高1段階:歌唱(ア)) (学・人) 曲想とリズム・速さ等の音楽的要素が、体の動きでも表現できる楽しさを感じ、主体的に取り組む事ができる。(高1段階)	鑑賞:「日本の音楽・諸外国の音楽(年末年始にちなんで)」等。(知及技に関する内容) 歌唱:「校歌」「卒業式の歌」「サンタルチア(原語で歌おう)」等。(思判表力に関する内容) 身体表現:「手話で歌おう(卒業式に関連して)」「指揮に挑戦」(学・人に関する内容)
			【鑑賞】 ・曲想や楽器の音色などの特徴に気付こう		
年間授業時数			(70)時間		